



一面よりつづく
縣が無難作に、直接下附するものではない、本署に於て詳細身許を取調べて、上申の結果、本署を経て下附する事になつて居るのだ。一體お前はあちらで何をし居つたのだ、とさきまつけられたので、有りまはらば申上げると、やゝやはらばた調子となり、「そんならば何かそれを証明するものがありませんか」と出たので、幸ひ旅券と一緒に、大きな袋に入れておいた、總領事から、外務省と文部省とに宛てた、二通の紹介依頼状があつたので、それを頼りにかけると、見る／＼う

### 内郷村振興委員會

縣當局に於ては、管下各市町村の更生刷新を期する爲從來の選舉肅正委員、經濟更生委員、教化委員、の制度を全廢して、新に振興委員會を設置する事に決定したるを以て、本村に於ても十月一日附告示第二五號を以て、左の規程を發表した其委員は追つて知事より任命せらるゝ由である。
内郷村振興委員會規程
第一條 本村ノ振興ヲ圖ル爲内郷村振興委員會ヲ設置ス
第二條 委員會ハ會長一人副會長一人委員六十七人

ち態度一變、しかも温顔に微笑を湛へて、「ア、さうでしたか、之は失禮しました、マアどうぞおかけ下さい」で其幕は閉ぢられたのであつた。
思ふに其當時の記者の服装が、なつて居なかつたのは、云ふ迄もないが、其受附子の態度も、あまり感心出來なかつた事と思はれるので、互に自重して、人に對しては、其人柄服装等の如何に、恐るゝ事なく、紳士淑女の態度を持つ事、痛切に考へさせらるゝのである。
方策ニ關シ村長ノ諮問ニ對シ意見ヲ開陳スルコトヲ得
第五條 委員會ハ其目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ
一、隣保團結ノ舊慣ヲ擴張シ公民道ノ確立振作ヲ圖ルコト
一、村會議員選舉其他ノ選舉肅正運動ヲ爲スコト
一、本村自治ノ淨化刷新ヲ圖ルコト
一、經濟更正ニ關スル調査及計畫ノ樹立並ニ其指導督勵ヲナスコト
一、社會教育機關ヲ普及シ其利用獎勵ヲスルト共ニ之ヲ援助シ機能ヲ充分發揮セシムルコト
一、自治經濟教化ニ關スル諸組織ト緊密ナル聯絡協力ヲ圖ルコト
一、其他市町村振興ノ爲必要ナル事項ヲ爲スコト
第六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長トナル會長ハ故障アルトキハ副會長其職務ヲ代理ス
第七條 委員會ニ幹事ヲ置キ會長之ヲ選任ス幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
第八條 委員會ニ書記ヲ置キ會長之ヲ選任ス書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ

從事ス
第九條 第五條第一項各號ニ掲グル事業ノ實施ニ關シ其徹底ヲ圖ル爲各部落部落常會ヲ設置ス
部落常會ノ區域名稱其他運営上必要ナル事項ハ本委員會ニ諮問シ村長之ヲ定ム
第十條 部落常會ハ其區域内ノ住民全員ヲ以テ之ヲ組織ス
第十一條 部落常會ニ會長一人副會長一人幹事若干名ヲ置ク
會長副會長及幹事ハ部落常會ニ於テ選舉ス但シ其區域行政區ト同一ナルトキハ會長ハ區長副會長ハ區長代理者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
會長副會長ノ任期ハ四年トス但シ村長助役區長區長代理ハ其任期間トス
附 則
本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
内郷村選舉肅正委員會規程ハ之ヲ廢止ス 以上

追加更正豫算
九月三十日村役場に村會を開き、十一年度歳入歳出追加更正豫算を附議し、之を左の通り可決したり。
金參百圓 追加豫算額
金拾四萬百九拾五圓 既定豫算額
合計金拾四萬四百九拾五圓 也
歳 出
金拾貳萬七千六百八拾參圓 經常部既定豫算額
金參百圓 追加豫算額
金壹萬貳千五百拾貳圓 臨時部既定豫算額
金貳百拾壹圓 臨時部更正豫算額
合計金拾四萬四百九拾五圓 也
方面事業取扱數
九月中に於ける方面委員の取扱ひし件數は左の通りである、生活扶助。法令に依るもの、二七。保險救療法令に依らざるもの、一。兒童保護、法令に依らざるもの、四八。相談指導、二五。戸籍整理、二。職業其他の紹介、六四。教化、一七。計一八四。
カド登録世帯及人口、第一種、世帯數、三七。人口一三〇。第二種、世帯數、八一。人口、三六六。 以上

日本評論社
發行所 東京三丁目
取次所 内郷村報社
大宇が其學區なるを以て、他の三校とは、趣を異にせる運動會を、十月九日其校庭に於て舉行。九十種目の演習が行はれ、之が目的は、

淺野社長と岡部重役來山
磐城炭礦社長淺野總一郎氏、橋弘毅氏、副委員長新妻敬藏氏以下十氏が、其任にあたり、

磐炭世話役會
九月二十七日淺野翁記念館に開催、重要事項を協議。

我國教育學界の權威
前京大總長小西重直博士

日本評論社
發行所 東京三丁目
取次所 内郷村報社

淺野社長と岡部重役來山
磐城炭礦社長淺野總一郎氏、橋弘毅氏、副委員長新妻敬藏氏以下十氏が、其任にあたり、

爲内郷村振興委員會ヲ設置ス  
 第二 委員會ハ會長一人 副會長一人委員六十七人  
 第四條 委員會ハ當村振興

消防組 在郷軍人會 愛國婦人會 女子青年團 自治功勞者 各炭礦幹部  
 第四條 委員會ハ當村振興

理ス  
 第八條 委員會ニ書記ヲ置キ會長之ヲ選任ス書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ

開き、十一年度歳入歳出追加更正豫算を附議し、之を左の通り可決したり。  
 入

日本評論社  
 東京橋本三丁目  
 内郷村報社

### 教育制度改革概論

矢野 恒太序 大内民惠著  
 風都字之吉  
 (四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理を實踐せ、歴史と實踐とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に遠あらず。されば未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威  
 前京大總長小西重直博士  
 書を寄せて曰く、多年ノ御體験ヲ實地ノ御試練ニ基ク眞摯愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不感敬ニ行ク申候云々。

發行所 東京橋本三丁目  
 取次所 内郷村報社

### 淺野社長と岡部重役來山

警城炭礦社長淺野總一郎氏は、山口秘書帶同、北海道より、歸途、十月十日午前、十時、礦業所に立ち寄り、平發電所、經坑及長倉坑を視察して、同日午後二時湯本驛より、歸京の途に、十月八日來山、四日間滞在、全山の各方面を視察調査し、從業員を激勵して、同日歸京した。社長入坑の

橋弘毅氏、副委員長新妻敬藏氏以下十氏が、其任にあつたのである。

### 河川工事陳情

宮川及白水川の工事に關し沼田村長は、九月二十日、關係代表者、櫻村好度、大越治七、高萩佐重、金澤慶一、久野藤一郎、大越惣一郎の諸氏と共に、出縣陳情する處あつた。

### 住吉坑長更迭

住吉坑長倉田龜之助氏は、礦務課長に、礦務課長田寺茂實氏は住吉坑長に、更迭同時に住吉坑事務主任田中宇一郎氏は、礦務課に轉勤

### 瑞芳寺改築

警城炭礦創業當初の殉職者葬祭は勿論、多數從業員の菩提所として有名なる瑞芳寺は、其本堂及庫裡の頽廢夥しきを以て、昨年一月より、警炭の管原濱崎正副兩所長、同務課係員、同親和會世話、村方各組合長等諸氏の、盡力斡旋の下に、寺院關係者一同が、其改築運動に奔走中であるが、其経過状況は、別項報告の通りである。

### 堀校長昇任

同校長は十月一日附を以て高等官七等待遇に昇任した

### 警炭世話役會

九月二十七日淺野翁記念館に開催、重要事項を協議。

### 小學校運動會

九月二十七日舉行の處、雨天の爲翌二十八日に日延。同校々庭に於て開催。名にし負ふ縣下第二大校、競技種目七十五。

### 瑞芳寺本堂及庫裡改築經過謹告

今般當山改築寄附金募集に當り十方有縁の諸彦より絶大なる御懇志を賜はり左の如き結果を得ました事は住職始め檀家一同の光榮として眞に感激する處であります。然るに總豫算より之を見まして尙且つ三千五百圓の不足を告げ更に一段の努力を要する現狀にありまして事情御賢察の上私共永年の宿望を達せしめん爲めに重ねて一般各位の御聲援御喜捨を仰ぎ度く衷心より熱囀いたす次第であります。

- 一、本堂總工費豫算 金壹萬貳千參百七拾五圓
- 一、庫裡總工費豫算 金四千七百七拾八圓七拾五錢
- 寄附金記帳の分
- 一、總額 金壹萬貳千四百四拾六圓
- (内) 金六千圓、警城炭礦株式會社。金四千五百八拾圓、總檀家中。金壹千貳百五拾圓、會社從業員。金六百十六圓、一般特志者。
- 工事開始豫定
- 昭和十一年度、假屋建設并開山以降各先亡靈供養
- 昭和十二年一月より 工事着手

瑞芳寺檀徒總代一同  
 信徒總代一同  
 住職 宮下秀貫

九月二十七日舉行の處、雨天の爲翌二十八日に日延。同校々庭に於て開催。名にし負ふ縣下第二大校、競技種目七十五。同校は學級六、兒童數四百三十、御厩小島御臺境の三

大字が其學區なるを以て、他の三校とは、趣を異にせる運動會を、十月九日其校庭に於て舉行。九十種目の演技を行ひ、之亦例年以上の盛況を呈した。

### 榮養講習會

警炭健康組合主催にて、營養研究所營養士田中喜平治氏を講師に招聘して、町田



榮養講習會第一班會務員 中央は田中講師 左は平野事務員

役員合宿に於て、十月一日より、營養講習會を開催した。受講者を六班に分ち、五日間宛講習する事とし、一班の人員は約三十人である。生活改善會の伊藤酒井羽下の、三調理士も受講した。

開拓記 大内 (函)

北海道十勝國上川郡 清水町 清水山莊 一 耶 米

拜復 八月二日附御便り又御寫眞誠に有り難う御座いました。厚く御禮申上げます。當地もどうやら夏らしい天候に恵まれ、毎日汗を流して大にやつて居ります。除草も今日一日で全部終了一段落、お盆前迄に蕨蕨舎を取りこわし、井戸修理(マス入れ)其他土工といふ具合で、山莊の外が頗る美化される事と存じます。先日馬鈴薯、ビート等に殺虫薬劑を撒布し、噴霧器は組合より借用し、又五日には軍隊の地方馬検査があり、其時北大教授市川博士の馬娘鑑定が御座いましたので、我初春號花咲初の兩馬も、診ていた、いた處、何れも完全に、妊娠して居る事と存じます。來春は又二頭が、山莊を賑はす事になるわけです。八月七日 一 耶

湯たぎらばお米を入れて縮器かけ コロコロ二分火をば引く也湯たぎらばウツドンを入れて縮器かけ コロコロ五分十分をむせホウレン草水を入らずに火にかけて コロコロ一分粗板にされる調理歌は如何ですか、阿々。二 耶が幸ひに、種畜場へ入場出来れば、お忙しい事でもあり、金もかゝる事で御座いますから、御來道には及ばず、一 耶をつけてやつたらと考へて居ります。親が附添へば結構でせうが、二 耶は一人でまゐるに申して居ります。いよいよ入場さきまれば、まさか背廣でもありませうから、詰襟一着をイブロンパンツ其他労働服一通りを揃へて送つていた、きたりた御座います。癡巻は一 耶が實習場時代のものを縫つて持たせてやらふと思ひます。昨日は貯金を下げて、こまかい拂をすましました。今日五十嵐商店から、脱穀器(二十圓)を持つて來る豫定です。今日は之丈にしておきます。

八月十六日 一 耶 拜復 十八日附御書、榮發讀本井に御送金、數々の御配慮、眞に勿體なく、厚く御禮申上げます。又先般は、黒川御歸朝御土産のキヤンデイもコーヒも給はりました。誠に有り難う御座いました。キヤンデーは早速平らげましたが、コーヒは、其うちホッパ、頂かう、一 耶、一同楽しみにして居ります。榮發讀本は、先きに新聞で廣告を見、是非讀んで見たいと思つて居つたのでした。仰せの通りひまの折々に、大に勉強いたそうと存じます。お父さんも、相變らず御忙しな御様子、並大抵では御座いませぬ、されど益々御健在の由を承はり、何よりの事と喜ばしく存じます。二 耶も前年のお父さんから、水蜜桃三箱油箱二つ、鐵道便でお送り下され、誠に思いこいた、きましました。平窪にあんなうまい桃が、出來やうとは思ひもよらんかつたので、其旨を申して禮状を差上げました。燕麥 山莊の分丈は、昨日を以て全部刈り取りました。これからお天氣次第、ごんごん脱穀いたします。脱穀機を一臺購入いたしましたので、本年は昨年比して大馬力が加はるわけです。野菜、豆、胡瓜、葱、牛蒡、キヤン

御通知 二男 二 耶 儀 豫て畜産方面の研究を志し北海道廳真駒内種畜場(札幌市郊外)に於りて此度 陸下行幸の光榮に浴す(實習生を出願いたして居つた處)併に許可せられたり十六日以後に此儀等知諸賢に御知らせ申上げて置きます。 十月十五日 大内民恵 拜具

秋の旅 高木 撫山 汽車の旅の秋の上野の上あるく 龜有は野菜ごころや芋の秋 稲架の中ドラック来るや利根堤 栗のいが色づく柿もチラ見ゆ 稻刈の頭の上につくば山 白き浪鷗の如く秋の海 消えとみち又現れぬ栗林 志賀野 癡まばけし子すかたり夜業 颯風に倒れし樺買手 颯風の灯を打ち振りあがる抗夫 颯風や大工と走る礦山巡視 石川 盧城

内郷村報の 六大使命

一、政務政議を超越して、村力充實主義を標榜す。 二、村内公私各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、總體和協努力の實現を期す。 三、本村社会事業の徹底を期す。 四、村内の善事善行を表彰し、且之を奨励す。 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。 六、尙餘力を以て、國民教育に當る。 往々以上の場所に於て、其人柄服装等によつて、其取扱を異にし、一寸敬へてくれれば、何でもない事、虎の威を藉る狐よろしく、殊に諸官公署等の仕事は、畏れを考慮して、其指導教育に一段の努力をなすべき事を、建言注意したのである。これに關聯する二十余年、縣下某警察署に於ける、

互に明朗な生活が出来る事と思はるるのである。これに關聯する二十余年、縣下某警察署に於ける、

本紙發行は内郷一報の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を發するものなり。